

# 京奈和道 紀の川IC通行止めに係る 交通マネジメント検討会

---

## 最終とりまとめ成果

令和6年12月

# 交通マネジメントの取組経緯



# 京奈和道 紀の川IC路面変状に対する交通マネジメント検討会の立ち上げ

令和5年12月5日に発生したE24京奈和自動車道 紀の川ICの路面変状により、同ICでは通行止めとなり、和歌山河川国道事務所において、早期の通行確保及び復旧に向けた対応を進めています。他方、紀の川ICの通行止めによる周辺道路の交通状況を把握し、道路利用者に対して、適切な交通案内や情報提供を行い、当該通行止めによる影響を最小限とするため、有識者、行政、高速道路会社などから構成される「京奈和自動車道 紀の川IC通行止めに係る交通マネジメント検討会」を設置し、包括的な交通マネジメントを実施。

- 第1回 令和5年12月13日（水）
- 第2回 令和6年 2月 6日（火）
- 第3回 令和6年11月28日（木）



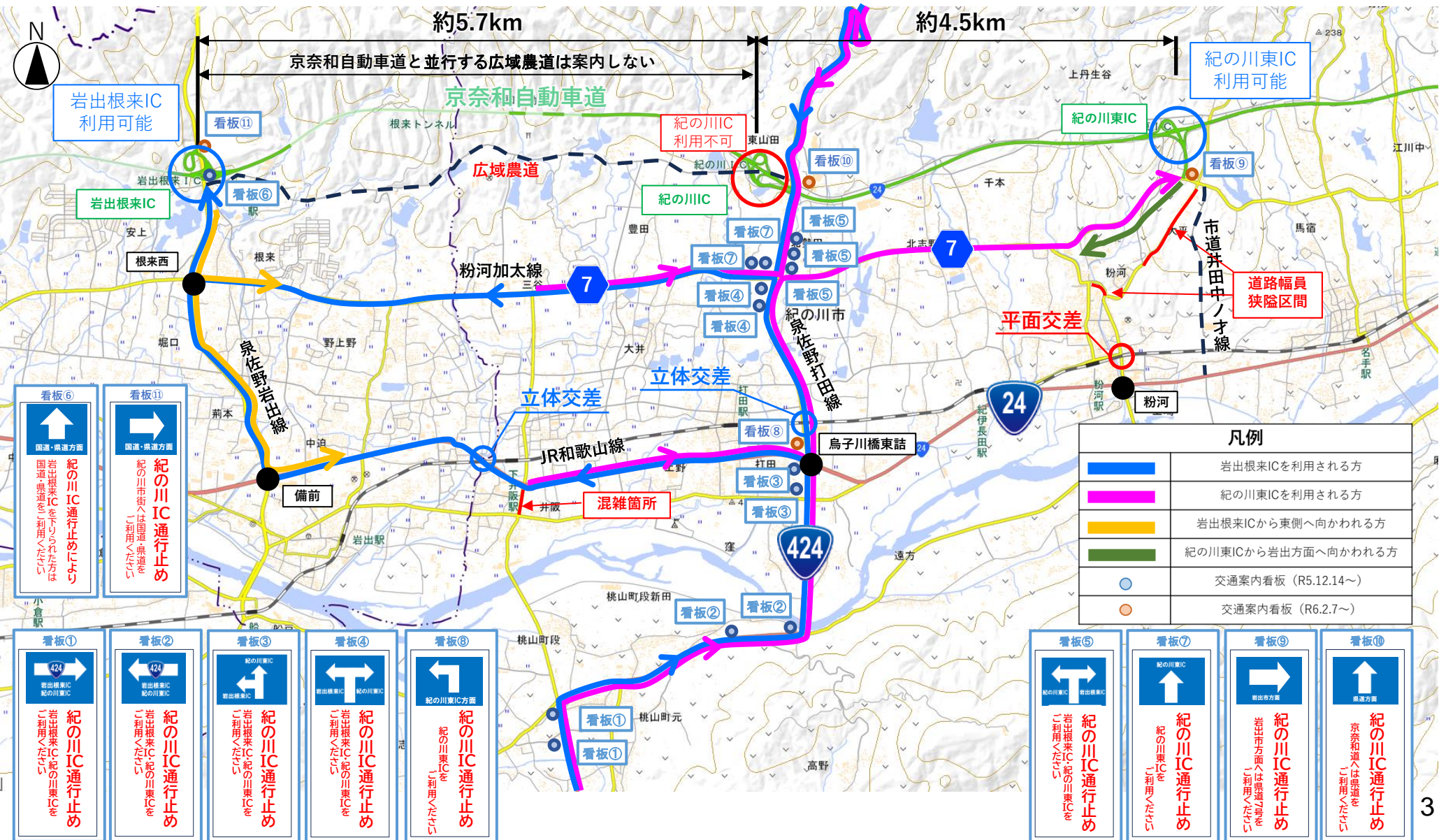
交通マネジメント検討会の様子

## 京奈和道 紀の川IC通行止めに係る交通マネジメント検討会 委員名簿

和歌山大学 経済学部 経済学科 教授 辻本 勝久	和歌山県 県土整備部 道路政策課長
和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授 伊勢 昇	和歌山県 県土整備部 道路保全課長
公益社団法人 和歌山県バス協会 専務理事	和歌山県警察本部 交通規制課 課長補佐
公益社団法人 和歌山県トラック協会 課長	和歌山県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊 副隊長
近畿運輸局 和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官	紀の川市 建設部 建設総務課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第一課長	岩出市 土木課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課長	かつらぎ町 建設課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路管理課長	西日本高速道路(株)関西支社 総務企画部 企画調整課長
国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 副所長	日本道路交通情報センター 大阪事務所 次長

# 交通マネジメントの取組内容(適切な交通案内)

○広域農道や生活道路等への流入抑制のため現地に案内看板を設置し、岩出根来ICや紀の川東ICの利用者に向けて国道24号や県道利用を呼び掛け。

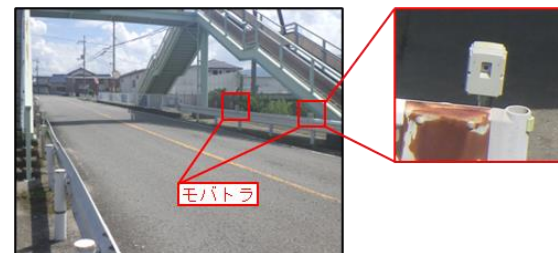


# 交通マネジメントの取組内容(交通情報の把握と発信)

○交通案内する道路(国道24号、県道)への影響把握や交通案内経路へ適切に交通が誘導されているかを確認するための、交通データ(交通量、旅行速度、交通流動)による交通モニタリング調査を実施。

## ■交通量

- 京奈和自動車道や利用を呼び掛けている京奈和自動車道と並行する国道24号や県道(粉河加太線)において、交通量計測装置(トラフィックカウンター「トラカン」)や可搬型交通量計測装置(モバトラ)により交通量観測を実施。
- 通行止め前と通行止め後(計4回)の交通量の変化を把握し、通行止めによる影響について確認。



## ■旅行速度

- 岩出根来ICや紀の川東ICへの交通案内に伴う周辺道路への影響を把握するため、ETC2.0プローブデータの速度情報により渋滞状況について分析。
- 通行止め前と通行止め後(計4回)の旅行速度の変化を把握し、通行止めによる影響について確認。

## ■交通流動

- 岩出根来ICや紀の川東ICを利用する車両について、ETC2.0プローブデータの経路情報により交通経路を分析。
- 通行止め前と通行止め後の周辺道路の利用台数の変化を捉えて交通案内経路の利用状況や広域農道等への流入状況を把握し、案内看板の必要性について確認。



紀の川東ICを利用する奈良方面への交通流動

# 交通マネジメントの取組内容(交通情報の把握と発信)

○道路情報板や道路交通情報(HP・テレビ・ラジオ)、関係機関HP等により、紀の川IC通行止め情報を発信。

## ■道路情報板



通行止め後(R5.12.5~)



復旧工事中(R6.7.24~)

## ■JARTIC

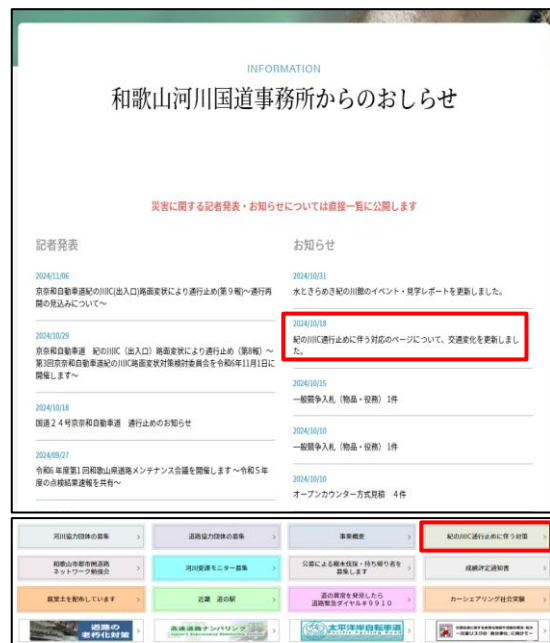
- ・JARTICのHP「道路交通情報Now!!」
- ・NHK TV「おはよう関西」(平日)、「ウィークエンド関西」(土曜日)のテレビパネルでの広報
- ・ラジオでの放送



道路交通情報Now!!

○和歌山河川国道事務所HPに特設ページを開設、交通案内や交通変化に関する交通情報を定期的に発信。

## ■HP(特設ページ)



特設ページ

和歌山河川国道事務所HP



## ■SNS



和歌山河川国道事務所X

# 交通マネジメントの取組内容(市民生活への影響把握)

- 関係機関(県・沿線市町・消防組合)へのヒアリングにより、通行止めに伴う通勤通学や救急搬送など市民生活への影響を把握。
- ヒアリングの結果、通行止め期間中において大きな支障は生じなかった。

## 和歌山県



### 和歌山県道路政策課、道路保全課

- ・通勤通学に関する市民生活への影響は確認できなかった。
- ・交通案内経路となっている県道は一部通学路となっており、通行車両に対して注意喚起看板による速度低下を促す対応を行っていた。

ヒアリング調査結果 (R6.11)

### 岩出市土木課

- ・特に支障は生じていない。
- ・広域農道に対する流入抑制のための交通案内については、効果はあったのではないかと考えている。

### 紀の川市建設総務課

- ・特に支障は生じていない。
- ・相対的に紀の川市内の交通量が増加した感覚であったが、市道井田中ノ才線は混雑している状況はなく、案内看板等による交通案内は適切に行われていたのではないかと考えている。

### かつらぎ町建設課

- ・特に支障は生じていない。

## 沿線市町



ヒアリング調査結果 (R6.2、R6.11)

## 消防組合



### 那賀消防組合(岩出市、紀の川市)

- ・県立医大病院(和歌山市)等への搬送の際に紀の川東ICを利用しなければならないため、通行止め前に比べて少し時間がかかり不便があるが、大きな支障は生じていない。

### 伊都消防組合(かつらぎ町)

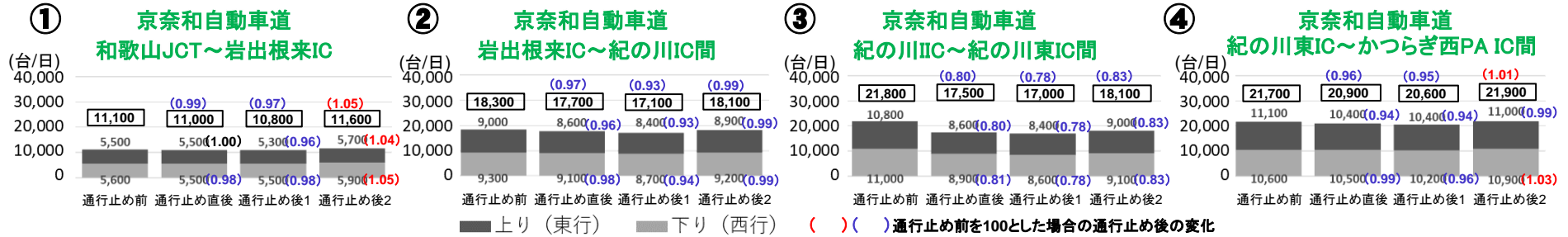
- ・公立那賀病院への搬送の際に手前の紀の川東ICで降りる必要があるため、通行止め前より少し時間がかかることがあるが、大きな支障は生じていない。

ヒアリング調査結果 (R6.2、R6.11) 6

# 交通モニタリング調査結果(交通量)

○京奈和道(岩出根来IC～紀の川IC)と並行する粉河加太線の交通量は減少傾向(箇所⑤)で、国道24号の交通量には変化は見られなかった。(箇所⑦)

○京奈和道(紀の川IC～紀の川東IC)と並行する粉河加太線の交通量は、通行止め前に比べ、約2,900台増加(箇所⑥)



※①②③④⑥⑦ 通行止め前:R5.11.1～R5.11.30の平日の24時間平均交通量、通行止め直後:R5.12.6～R6.1.19の平日の24時間平均交通量、通行止め後1: R6.2.6～R6.3.5の平日の24時間平均交通量、通行止め後2: R6.9.1～R6.9.30の平日の24時間平均交通量  
 ※⑤ 通行止め前:令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査交通量(R3.11.16)、通行止め直後:R5.12.6～R6.1.19の平日の24時間平均交通量、通行止め後1: R6.2.6～R6.3.5の平日の24時間平均交通量、通行止め後2: R6.9.3～R6.9.30の平日の24時間平均交通量



# 交通モニタリング調査結果(旅行速度の変化(平日))

- 紀の川東IC出口において、速度低下を確認するものの、周辺道路では、新たな速度低下は発生していなかった。
- 紀の川東ICや岩出根来ICへの交通案内経路となっている国道24号や粉河加太線では、新たな速度低下は発生していなかった。

通行止め前速度図  
2023年10月日中(7~18時台)



通行止め後速度図  
12月6日~1月19日日中(7~18時台)



通行止め後速度図  
2月6日~3月5日(7~18時台)



通行止め後速度図  
2024年9月日中(7~18時台)



# 交通モニタリング調査結果(旅行速度の変化(休日))

- 紀の川東IC出口において、速度低下を確認するものの、周辺道路では、新たな速度低下は発生していなかった。
- 紀の川東ICや岩出根来ICへの交通案内経路となっている国道24号や粉河加太線では、新たな速度低下は発生していなかった。



# 交通モニタリング調査結果(交通流動～奈良県方面への交通～)

○案内看板設置後(R5.12.14)の紀の川東IC利用について、国道24号～市道井田中ノ才線を利用した交通も増えており新たな流入増の懸念があったことから、追加の案内看板を設置し流入抑制対策を強化。

○紀の川東IC利用にあたっては、案内経路の他、国道24号～市道、県道～市道を使った経路での利用も見られた。

## 紀の川東IC上りオンランプを利用する交通流動

### 通常時と通行止め直後の台数変化



## 紀の川東IC下りオフランプを利用する交通流動

### 通常時と通行止め直後の台数変化



## 通常時と通行止め9ヶ月後の台数変化



## 通常時と通行止め9ヶ月後の台数変化



# 交通モニタリング調査結果(交通流動～和歌山市・大阪府方面への交通～)

○案内看板設置後(R5.12.14)の岩出根来IC利用について、広域農道を利用した交通も増えており新たな流入増の懸念があったことから、追加の案内看板を設置し流入抑制対策を強化。

○岩出根来IC利用にあたっては、案内経路の他、広域農道を使った経路での利用も見られた。

## 岩出根来IC上りオフランプを利用する交通流動

### 通常時と通行止め直後の台数変化



ETC2.0プローブデータ様式1-2 (通常時:2023年10月 通行止め時:2023年12月6日～2024年1月24日)

## 岩出根来IC下りオンランプを利用する交通流動

### 通常時と通行止め直後の台数変化



ETC2.0プローブデータ様式1-2 (通常時:2023年10月 通行止め時:2023年12月6日～2024年1月24日)

### 通常時と通行止め9ヶ月後の台数変化



ETC2.0プローブデータ様式1-2 (通行止め前:2023年10月 (通行止め後:2024年9月)

### 通常時と通行止め9ヶ月後の台数変化



ETC2.0プローブデータ様式1-2 (通行止め前:2023年10月 (通行止め後:2024年9月)